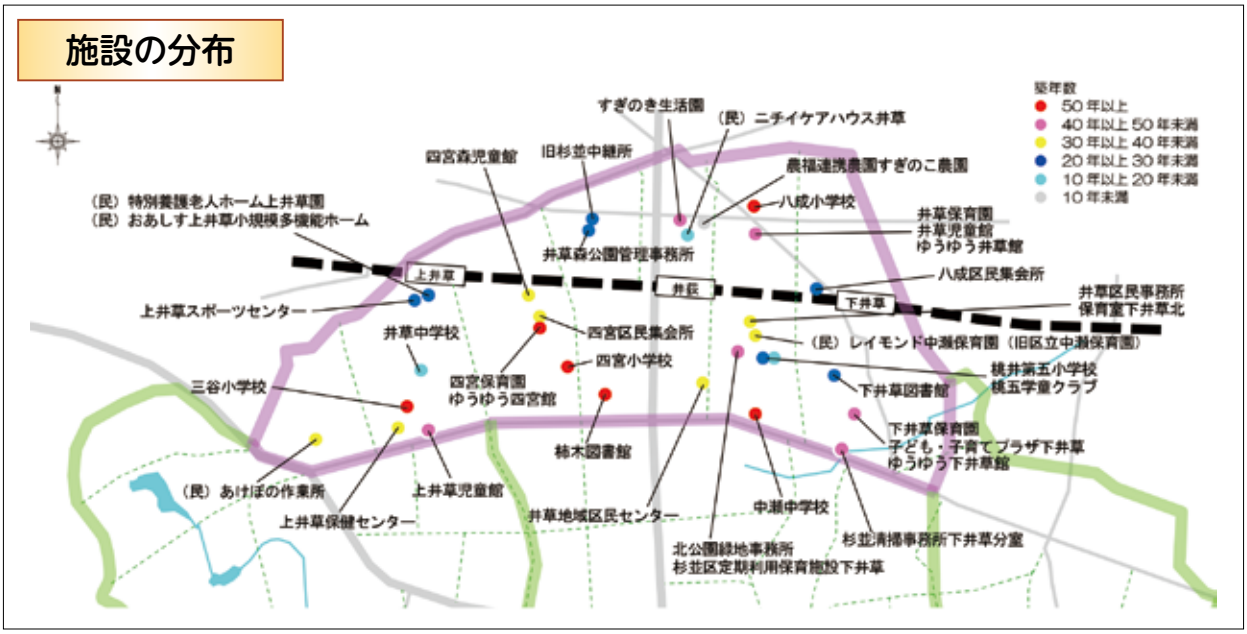
(2) 地域ごとの施設の課題

この項目では、区内7地域に分けて、地域ごとに施設の課題を整理しています。築50年を経過した施設などを中心に記載しています。

❶ 井草地域

施設の分布



主な施設の数

施設分類	施設数	施設分類	施設数
小学校	4	地域区民センター	1
中学校	2	区民集会所	2
児童館	3	ゆうゆう館	3
子ども・子育てプラザ	1	体育館	1
区立保育園	3	図書館	2

井草地域の施設の課題

①	施 設 名	中瀬中学校
	所 在 地	下井草4-3-29
	建築年度	昭和34年度（1959年度）（築64年）
	延床面積	7,129.09㎡

【課題】
○現在、改築に向けた取組を進めており、令和5年度（2023年度）から新校舎の建築に着手しています。
■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

②	施 設 名	三谷小学校
	所 在 地	上井草3-14-12
	建築年度	昭和40年度（1965年度）（築58年）
	延床面積	5,181.82㎡

【課題】
○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、今後の改築候補校としています。
○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

③	施 設 名	柿木図書館
	所 在 地	上井草1-6-13
	建築年度	昭和40年度（1965年度）（築58年）
	延床面積	1,162.61㎡

【課題】
○エレベーターが設置されていないなどバリアフリーに課題があります。
○施設の老朽化への対応に当たり、建物を改築する場合には、周辺施設との複合化や改築工事期間中の代替運営場所の確保などが検討課題となります。

④

施 設 名	四宮保育園（中核園）、ゆうゆう四宮館
所 在 地	上井草2-28-3
建築年度	昭和41年度（1966年度）（築57年）
延床面積	保育園：355.60㎡、ゆうゆう館：202.59㎡

【課題】

○区立保育園は、現在計画化されているものを除き、当面、民営化の予定はないことから、改築等について検討が必要です。仮に四宮保育園が現在と同じ場所・定員で改築する場合、現在の基準に当てはめると必要諸室の規模が大きくなる等、延床面積が増加する見込みです。これにより、現在の環境と比較して、園庭が狭くなる、他の施設を併設する場合は、その延床面積が狭くなるなどの状況が生じる可能性があります。

○そうしたことを踏まえ、施設のあり方や移転の可能性、改築等工事期間中の代替運営場所の確保などが検討課題となります。

⑤

施 設 名	八成小学校
所 在 地	井草2-25-4
建築年度	昭和44年度（1969年度）（築54年）
延床面積	6,176.22㎡（学童クラブ含む）

【課題】

○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、今後の改築候補校としています。

○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

⑥

施 設 名	四宮小学校
所 在 地	上井草2-12-26
建築年度	昭和46年度（1971年度）（築52年）
延床面積	6,139.07㎡

【課題】

○築50年を経過しており、今後、老朽化への対応を検討する際には、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

⑦	施 設 名	すぎのき生活園
	所 在 地	井草3-18-14
	建築年度	すぎのき棟:昭和57年度（1982年度）（築41年） けやき棟：平成５年度（1993年度）（築30年）
	延床面積	すぎのき棟：1,525.22㎡、けやき棟：906.89㎡

【課題】
○築41年を経過し、設備の老朽化への対応が課題となっています。また、80名を超える利用者がおり、施設の特性から運営を継続しながら改修等を行う場合には、平日の日中に行うことができる工事には制限があります。
○これらの課題に対応するため、近隣に仮設園舎を整備し、すぎのき棟とけやき棟について、一体的に長寿命化改修を実施します。
■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

⑧	施 設 名	四宮区民集会所
	所 在 地	上井草2-28-13
	建築年度	昭和59年度（1984年度）（築39年）
	延床面積	299.34㎡

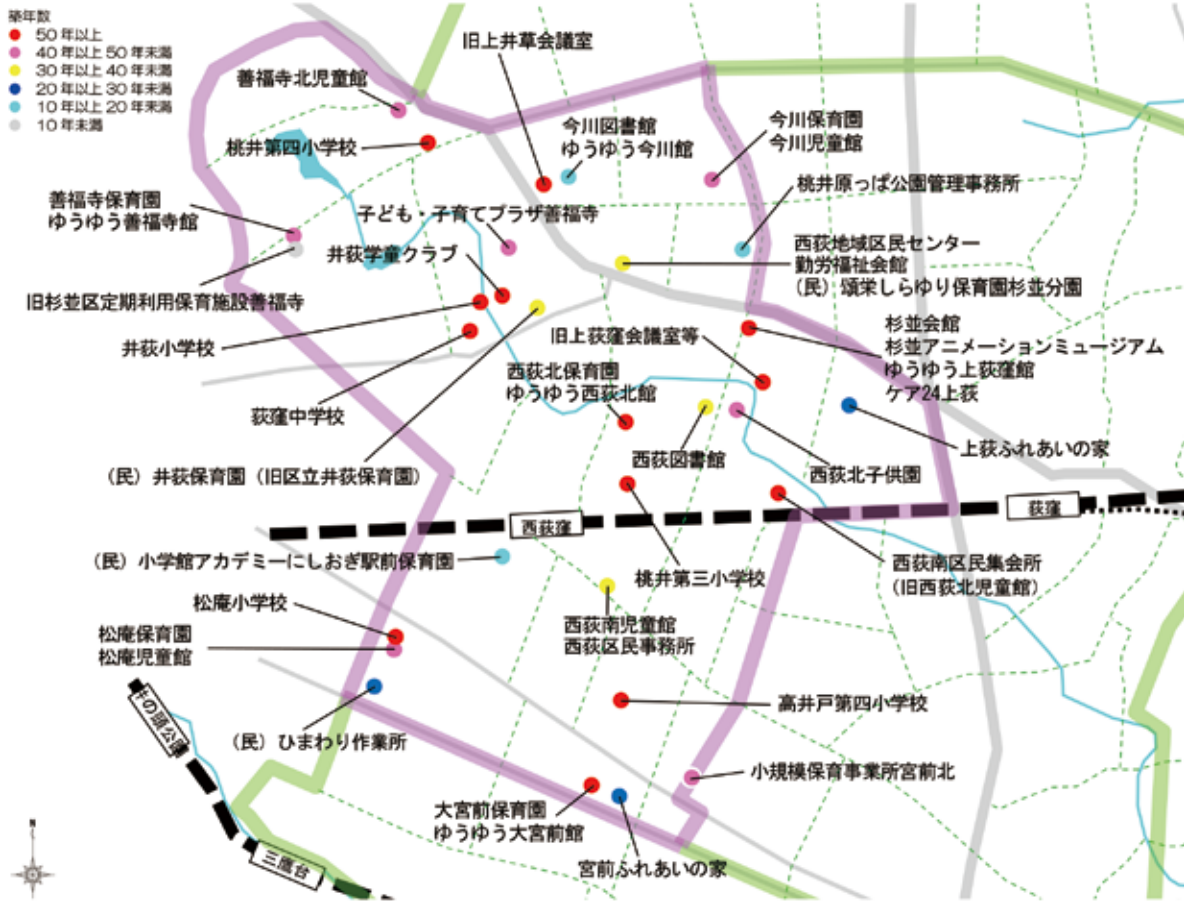
【課題】
○老朽化した近隣のゆうゆう四宮館等の対応など、周辺施設の状況を踏まえて、本施設についても合わせて検討する可能性があります。

⑨	施 設 名	旧杉並中継所
	所 在 地	井草4-15-18
	建築年度	平成7年度（1995年度）（築28年）
	延床面積	6,311.73㎡

【課題】
○災害時の防災拠点としての活用は決定しましたが、平時の活用については、引き続き検討していきます。
○平時の活用については、建物の構造や特性を踏まえた活用方法や、機械設備の撤去にかかる費用等を踏まえながら検討を進めていきます。
■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

❷ 西荻地域

施設の分布



主な施設の数

施設分類	施設数	施設分類	施設数
小学校	5	地域区民センター	1
中学校	1	区民集会所	1
児童館	4	ゆうゆう館	5
子ども・子育てプラザ	1	図書館	2
区立保育園	5		

西荻地域の施設の課題

①	施 設 名	桃井第四小学校
	所 在 地	善福寺3-3-5
	建築年度	昭和39年度（1964年度）（築59年）
	延床面積	5,252.88㎡

【課題】

○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、今後の改築候補校としています。

○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

②	施 設 名	桃井第三小学校
	所 在 地	西荻北2-10-7
	建築年度	昭和39年度（1964年度）（築59年）
	延床面積	5,481.02㎡（学童クラブ含む）

【課題】

○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、施設の長寿命化に向けた中規模修繕等の候補校としています。今後、修繕の実施時期等について検討する必要があります。

③	施 設 名	大宮前保育園、ゆうゆう大宮前館
	所 在 地	宮前5-19-8
	建築年度	昭和40年度（1965年度）（築58年）
	延床面積	保育園：331.02㎡、ゆうゆう館：199.44㎡

【課題】

○区立保育園は、現在計画化されているものを除き、当面、民営化の予定はないことから、改築等について検討が必要です。仮に大宮前保育園が現在と同じ場所・定員で改築する場合、現在の基準に当てはめると必要諸室の規模が大きくなる等、延床面積が増加する見込みです。これにより、現在の環境と比較して、園庭が狭くなる、他の施設を併設する場合は、その延床面積が狭くなるなどの状況が生じる可能性があります。

○近隣の西宮中学校が改築に向けた検討を開始することから、これに合わせて改築等について検討する必要があります。

○そうしたことを踏まえ、施設のあり方や移転の可能性、工事期間中の代替運営場所の確保などが検討課題となります。

★この施設は、第1次実施プランの「取組案の検討」（高井戸地域）に記載があります。

④	施 設 名	荻窪中学校
	所 在 地	善福寺1-8-3
	建築年度	昭和41年度（1966年度）（築57年）
	延床面積	5,446.09㎡

【課題】

○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、今後の改築候補校としています。

○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

⑤	施 設 名	杉並会館、杉並アニメーションミュージアム、ゆうゆう上荻窪館、ケア24上荻	
	所 在 地	上荻3-29-5	
	建築年度	昭和42年度（1967年度）（築56年）	
	延床面積	会館：2,886.65㎡、アニメ：882.23㎡、ゆうゆう館：248.8㎡、ケア24：75.6㎡	
	【課題】 ○築56年を経過しており、施設の老朽化が進んでいますが、当面、必要な設備の更新を行いながらレセプション機能を実施し、今後については、施設の老朽化の状況などを踏まえて、改めて検討することとします。 ○杉並アニメーションミュージアムは、観光資源と位置付けていますが、立地環境や施設の老朽化などの課題があります。経済活性化などの効果をより高めるため、移転場所を検討する必要があります。 ○暫定的に運営しているゆうゆう上荻窪館、ケア24上荻は、旧上荻窪会議室等跡地活用と合わせて検討する必要があります。 ★ゆうゆう上荻窪館及びケア24上荻は、第1次実施プランの「取組案の検討」に記載があります。		

⑥	施 設 名	高井戸第四小学校	
	所 在 地	西荻南1-8-16	
	建築年度	昭和44年度（1969年度）（築54年）	
	延床面積	5,077.07㎡	
	【課題】 ○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、今後の改築候補校としています。 ○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。		

⑦

施 設 名	旧上井草会議室
所 在 地	今川4-8-22
建築年度	昭和44年度（1969年度）（築54年）
延床面積	283.00㎡

【課題】
○令和4年度（2022年度）末で廃止した後、当面は物品保管庫等として活用していきます。
○前記活用後の跡地活用については、築54年を経過し、施設の老朽化が進んでいることや路地状敷地（旗竿状の土地）であることを踏まえて、活用策を検討する必要があります。

⑧

施 設 名	松庵小学校
所 在 地	松庵2-23-24
建築年度	昭和45年度（1970年度）（築53年）
延床面積	4,837.52㎡

【課題】
○築50年を経過しており、今後、老朽化への対応を検討するに際には、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

⑨

施 設 名	西荻南区民集会所（旧西荻北児童館）
所 在 地	西荻北1-9-5
建築年度	昭和45年度（1970年度）（築53年）
延床面積	461.88㎡

【課題】
○西荻南区民集会所は、西荻区民事務所が設置されていた借上げ建物の耐震性不足により、同区民集会所のスペースへ区民事務所を移転したことに伴い、令和4年（2022年）7月から旧西荻北児童館の建物に暫定的に移転しています。
○令和3年度（2021年度）の区立施設再編整備計画では、旧西荻北児童館の跡地については、近隣の西荻北保育園改築時の仮設園舎整備用地として活用することを予定していました。この取組については、これまでの計画の検証に伴い一旦休止しています。同保育園の老朽化への対応については、今後、改めて検討していく必要があります。
★この施設は、第1次実施プランの「取組案の検討」に記載があります。

⑩		
	施 設 名	井荻小学校
	所 在 地	善福寺1-10-19
	建築年度	昭和46年度（1971年度）（築52年）
	延床面積	5,134.04㎡

【課題】

○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、施設の長寿命化に向けた中規模修繕等の候補校としています。今後、修繕の実施時期等について検討する必要があります。

⑪		
	施 設 名	西荻北保育園（中核園・障害児指定園）、 ゆうゆう西荻北館
	所 在 地	西荻北2-27-18
	建築年度	昭和48年度（1973年度）（築50年）
	延床面積	保育園：648.65㎡、ゆうゆう館：229.77㎡

【課題】

○令和3年度（2021年度）の区立施設再編整備計画では、ゆうゆう西荻北館は、旧上荻窪会議室等跡地に整備するコミュニティふらっとに機能継承し、西荻北保育園については、旧西荻北児童館跡地に仮設園舎を整備し、現在地で改築する予定でした。これらの取組については、これまでの計画の検証に伴い一旦休止しています。なお、旧西荻北児童館跡地については、現在、西荻南区民集会所が暫定的に運営している状況です。

○区立保育園は、現在計画化されているものを除き、当面、民営化の予定はないことから、改築等について検討が必要です。仮に西荻北保育園が現在と同じ場所・定員で改築する場合､現在の基準に当てはめると必要諸室の規模が大きくなる等、延床面積が増加する見込みです。これにより、現在の環境と比較して、園庭が狭くなる、他の施設を併設する場合は、その延床面積が狭くなるなどの状況が生じる可能性があります。

○そうしたことを踏まえ、施設のあり方や移転の可能性、工事期間中の代替運営場所の確保などが検討課題となります。

★この施設は、第1次実施プランの「取組案の検討」に記載があります。

⑫

施 設 名	旧上荻窪会議室等跡地
所 在 地	上荻3-16-6
建築年度	－
延床面積	－

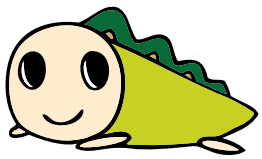
【課題】

○令和3年度（2021年度）の区立施設再編整備計画では、既存施設を解体した上で、コミュニティふらっとを整備し、これまで上荻窪会議室を利用していた町会等の代替活動場所とするとともに、ゆうゆう上荻窪館、ゆうゆう西荻北館の機能を継承していく考えでした。これらの取組については、これまでの計画の検証に伴い一旦休止しています。

○施設の老朽化が進んでいたことから、令和4年（2022年）12月末に会議室を廃止し、既存建物については解体することとしました。当建物に併設していたゆうゆう上荻窪館及びケア24上荻については、近隣の杉並会館内に暫定的に移転しています。

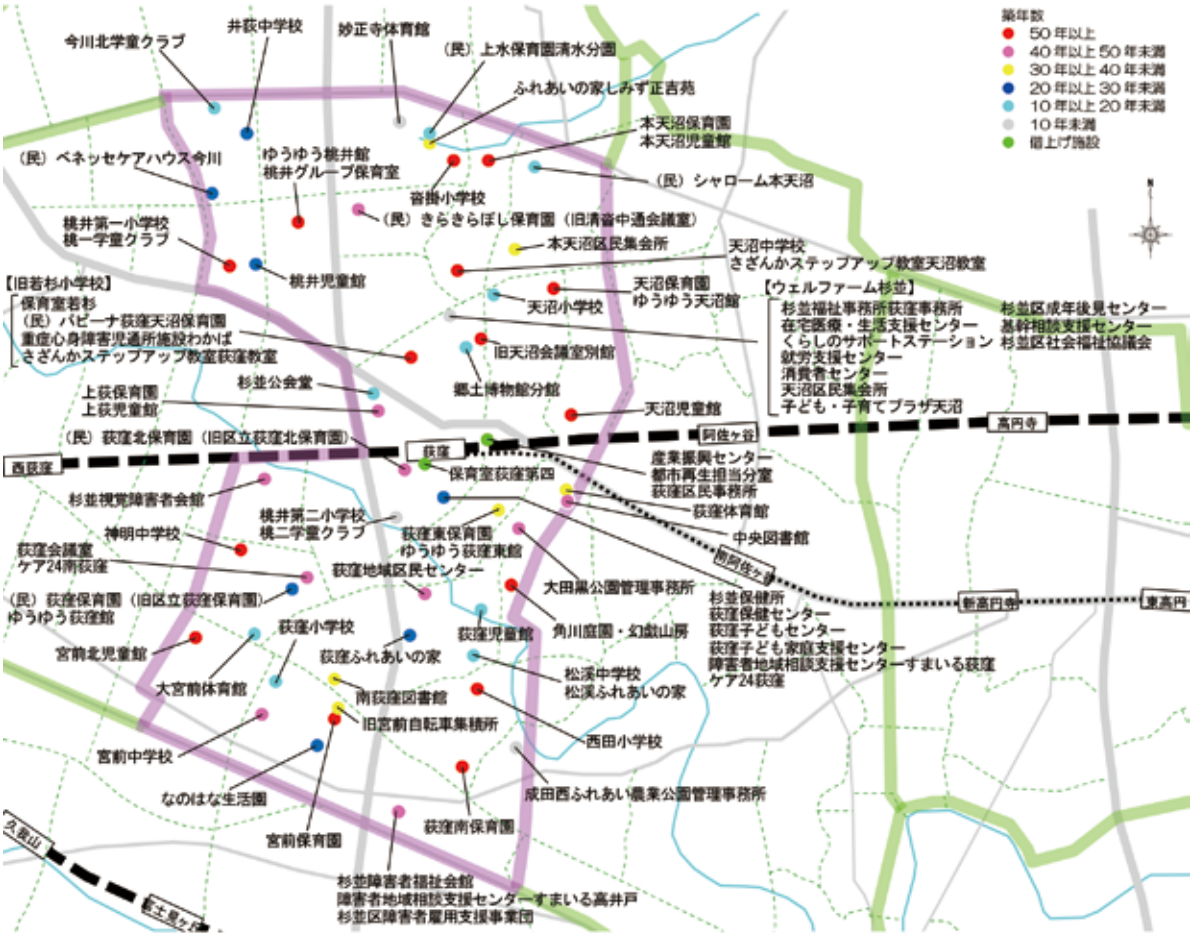
○当跡地については、既に建物の解体に着手していることから、速やかに活用策の検討・決定をする必要があります。前記2館のゆうゆう館の老朽化や周辺施設の利用状況、高齢者の活動場所の確保等の観点を踏まえつつ、集会機能を有する施設の整備を視野に、改めて取組案を検討していく必要があります。

★この施設は、第1次実施プランの「取組案の検討」に記載があります。



❸ 荻窪地域

施設の分布



主な施設の数

施設分類	施設数	施設分類	施設数
小学校	6	地域区民センター	1
中学校	5	区民集会所	2
児童館	6	ゆうゆう館	4
子ども・子育てプラザ	1	体育館	3
区立保育園	6	図書館	2

荻窪地域の施設の課題

①	施 設 名	天沼中学校、 さざんかステップアップ教室「天沼教室」
	所 在 地	本天沼3-10-20
	建築年度	昭和34年度（1959年度）（築64年）
	延床面積	中学校：6,281.72㎡、さざんか：187.56㎡

【課題】
○天沼中学校は、既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）においては、今後の改築候補校としており、改築に向けた取組を進めていきます。
○学校改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、併設するさざんかステップアップ教室のあり方や、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。
■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

②	施 設 名	神明中学校
	所 在 地	南荻窪2-37-28
	建築年度	昭和35年度（1960年度）（築63年）
	延床面積	5,958.42㎡

【課題】
○現在、改築に向けた取組を進めており、仮設校舎を整備した上で、令和6年度（2024年度）から、既存校舎の解体や新校舎の整備を進めていきます。
■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

③

施 設 名	桃井第一小学校
所 在 地	桃井2-6-1
建築年度	昭和38年度（1963年度）（築60年）
延床面積	6,093.73㎡（学童クラブ含む）

【課題】

○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、今後の改築候補校としています。

○令和4年（2022年）4月から、校庭の一部を活用して整備した建物で学童クラブを実施しています。令和6年度（2024年度）中に策定予定である「（仮称）杉並区子どもの居場所づくり基本方針」の内容を踏まえ、今後の施設のあり方を具体化していきます。

○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

④

施 設 名	旧天沼会議室別館
所 在 地	天沼3-34-38
建築年度	昭和41年度（1966年度）（築57年）
延床面積	128.06㎡

【課題】

○平成27年度（2015年度）末に会議室としての活用は終了し、その後は資料保管庫等として活用してきましたが、築57年を経過し、老朽化への対応を検討する時期に来ています。

⑤

施 設 名	西田小学校
所 在 地	荻窪1-38-15
建築年度	昭和41年度（1966年度）（築57年）
延床面積	6,653.49㎡（学童クラブ含む）

【課題】

○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、施設の長寿命化に向けた中規模修繕等の候補校としています。今後、修繕の実施時期等について検討する必要があります。

○小学校内で実施している学童クラブは、令和5年度（2023年度）現在、待機児童が生じており、今後も待機児童が発生する見込みのため、対応を検討する必要があります。

⑥	施 設 名	旧若杉小学校、 重症心身障害児通所施設わかば、 さざんかステップアップ教室「荻窪教室」、 保育室若杉、パピーナ荻窪天沼保育園（民設）	
	所 在 地	天沼3-15-20	
	建築年度	昭和42年度（1967年度）（築56年）	
	延床面積	旧若杉小学校全体：5,431.68㎡ （内、わかば：212.83㎡、さざんか：348.5㎡、保育室：1,524.15㎡、民設保育所：1,203.28㎡）	
	【課題】 ○旧若杉小学校の本格活用に向けて、重症心身障害児通所施設わかばやさざんかステップアップ教室「荻窪教室」等の移転先を検討することが課題となっています。 ○本格活用に当たっては、令和5年度（2023年度）に実施する躯体の状況調査の結果等を踏まえ、地域の意見を聴きながら方向性を定めていきます。 ○保育室若杉は、令和6年度（2024年度）末で廃止します。 ○パピーナ荻窪天沼保育園は、天沼保育園及びゆうゆう天沼館が移転等をした後の跡地に令和8年（2026年）４月に移転します。 ★この施設は、第1次実施プランの「取組案の検討」に記載があります。	

⑦	施 設 名	沓掛小学校	
	所 在 地	清水3-1-9	
	建築年度	昭和43年度（1968年度）（築55年）	
	延床面積	6,834.41㎡（学童クラブ含む）	
	【課題】 ○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、今後の改築候補校としています。 ○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。	

⑧

施 設 名	ゆうゆう桃井館、桃井グループ保育室
所 在 地	桃井1-35-2
建築年度	昭和44年度（1969年度）（築54年）
延床面積	ゆうゆう館：225.42㎡、保育室：165.04㎡

【課題】

○ゆうゆう桃井館は、築54年が経過し、老朽化への対応の検討が必要な時期に来ています。近隣の桃井第一小学校の改築に合わせた複合化の可能性なども含め、周辺施設の状況を踏まえて今後の対応について検討する必要があります。

○桃井グループ保育室は、上記と合わせて今後の対応を検討していく必要があります。

⑨

施 設 名	本天沼保育園（中核園）、本天沼児童館
所 在 地	本天沼3-34-35
建築年度	昭和45年度（1970年度）（築53年）
延床面積	保育園：642.52㎡、児童館：415.40㎡

【課題】

○区立保育園は、現在計画化されているものを除き、当面、民営化の予定はないことから、改築等について検討が必要です。仮に本天沼保育園が現在と同じ場所・定員で改築する場合、現在の基準に当てはめると必要諸室の規模が大きくなる等、延床面積が増加する見込みです。これにより、現在の環境と比較して、園庭が狭くなる、他の施設を併設する場合は、その延床面積が狭くなるなどの状況が生じる可能性があります。

○そうしたことを踏まえ、施設のあり方や移転の可能性、工事期間中の代替運営場所の確保などが検討課題となります。

○本天沼児童館については、令和6年度（2024年度）中に策定予定である「（仮称）杉並区子どもの居場所づくり基本方針」の内容を踏まえ、今後の施設のあり方を具体化していきます。

⑩

施 設 名	天沼児童館
所 在 地	天沼1-6-25
建築年度	昭和45年度（1970年度）（築53年）
延床面積	580.86㎡

【課題】

○児童館内で実施している学童クラブは、令和5年度（2023年度）現在、待機児童が生じており、今後も待機児童が発生する見込みのため、対応を検討する必要があります。

○現在地での改築や大規模な改修をする場合には、工事期間中の代替運営場所の確保等の検討が必要となります。

○令和6年度（2024年度）中に策定予定である「（仮称）杉並区子どもの居場所づくり基本方針」の内容を踏まえ、今後の施設のあり方を具体化していきます。

⑪

施 設 名	宮前保育園
所 在 地	宮前2-24-38
建築年度	昭和45年度（1970年度）（築53年）
延床面積	621.12㎡

【課題】

○区立保育園は、現在計画化されているものを除き、当面、民営化の予定はないことから、改築等について検討が必要です。仮に宮前保育園が現在と同じ場所・定員で改築する場合、現在の基準に当てはめると必要諸室の規模が大きくなる等、延床面積が増加する見込みです。これにより、現在の環境と比較して、園庭が狭くなるなどの状況が生じる可能性があります。

○現在地での改築や大規模な改修をする場合には、工事期間中の代替運営場所の確保等の検討が必要となります。

⑫

施 設 名	荻窪南保育園（障害児指定園）
所 在 地	荻窪1-1-6
建築年度	昭和47年度（1972年度）（築51年）
延床面積	662.87㎡

【課題】

○区立保育園は、現在計画化されているものを除き、当面、民営化の予定はないことから、改築等について検討が必要です。仮に荻窪南保育園が現在と同じ場所・定員で改築する場合、現在の基準に当てはめると必要諸室の規模が大きくなる等、延床面積が増加する見込みです。これにより、現在の環境と比較して、園庭が狭くなるなどの状況が生じる可能性があります。

○現在地での改築や大規模な改修をする場合には、工事期間中の代替運営場所の確保等の検討が必要となります。

⑬

施 設 名	宮前北児童館
所 在 地	宮前3-29-6
建築年度	昭和47年度（1972年度）（築51年）
延床面積	557.15㎡

【課題】

○現在地での改築や大規模な改修をする場合には、工事期間中の代替運営場所の確保等の検討が必要となります。

○令和6年度（2024年度）中に策定予定である「（仮称）杉並区子どもの居場所づくり基本方針」の内容を踏まえ、今後の施設のあり方を具体化していきます。

⑭

施 設 名	荻窪会議室、ケア24南荻窪
所 在 地	南荻窪2-28-13
建築年度	昭和50年度（1975年度）（築48年）
延床面積	会議室：420.33㎡、ケア24：87.62㎡

【課題】

○荻窪会議室については、老朽化が進む中、バリアフリー化、無人管理であることなどが課題となっています。

○荻窪会議室1階部分には、以前に保育室として活用していたスペースがあり、近隣の荻窪地域区民センターの長寿命化改修期間（令和6年（2024年）11月～令和8年（2026年）6月を予定）においては、同センター内の荻窪地域活動係の代替事務室として活用する予定です。その後の活用については、今後検討する必要があります。

○施設老朽化への対応に当たり、改築等を検討する場合には、併設施設の更新方針との調整、移転や工事期間中の代替運営場所の確保等が課題となります。

⑮	施 設 名	荻窪地域区民センター
	所 在 地	荻窪2-34-20
	建築年度	昭和53年度（1978年度）（築45年）
	延床面積	3,817.95㎡

【課題】
○施設の長寿命化に向けて、令和6年度（2024年度）から長寿命化改修を実施します。
■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

⑯	施 設 名	宮前中学校
	所 在 地	宮前2-12-1
	建築年度	昭和54年度（1979年度）（築44年）
	延床面積	9,188.59㎡

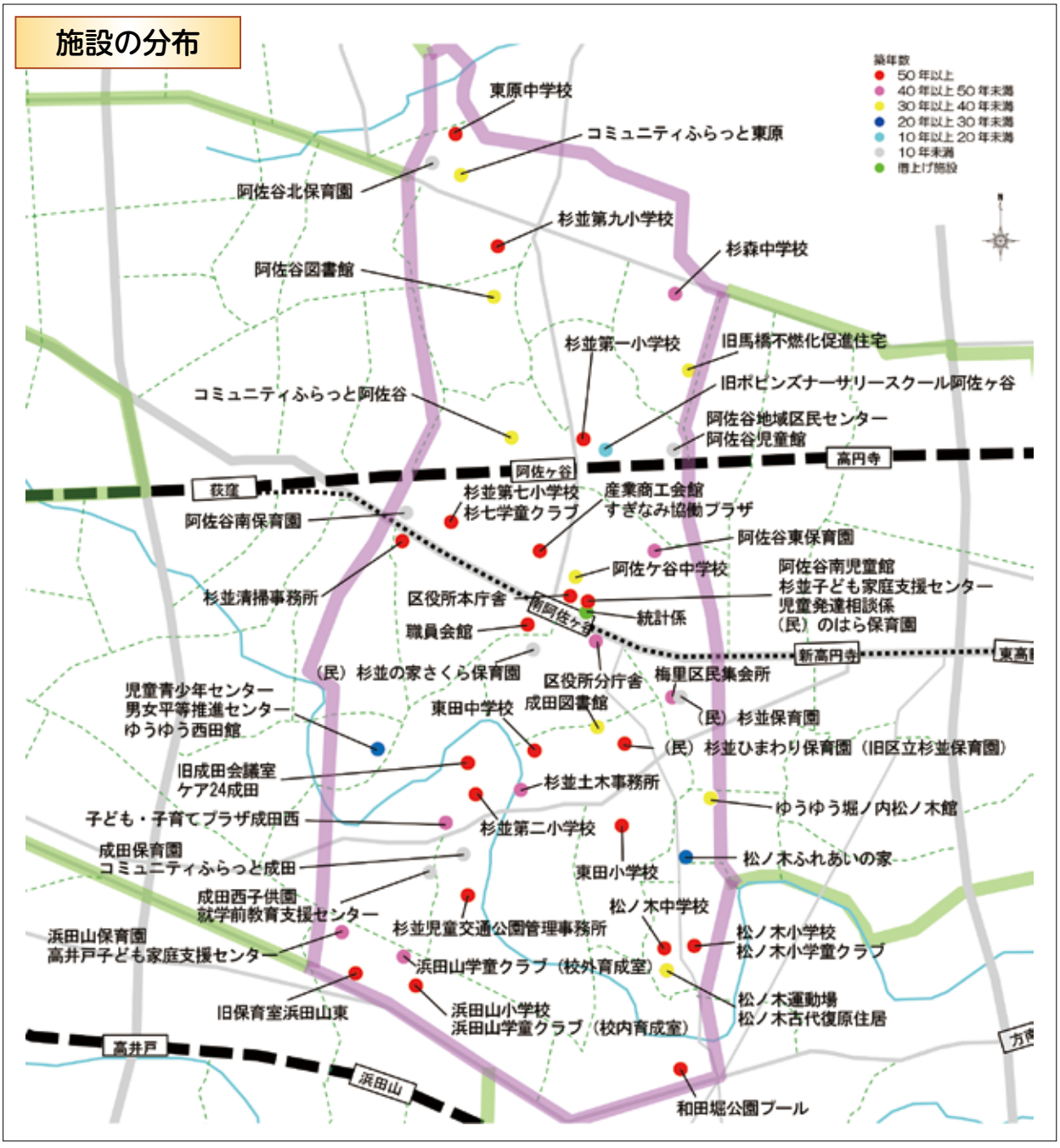
【課題】
○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、施設の長寿命化に向けた長寿命化改修の候補校としています。今後、長寿命化改修を実施する時期等について検討する必要があります。

⑰	施 設 名	杉並障害者福祉会館、 障害者地域相談支援センターすまいる高井戸、 杉並区障害者雇用支援事業団
	所 在 地	高井戸東4-10-5
	建築年度	昭和56年度（1981年度）（築42年）
	延床面積	福祉会館：1,779.27㎡、すまいる：44.23㎡、事業団：562.21㎡

【課題】
○運営を休止することができない施設であることから、施設老朽化への対応として長寿命化改修を実施する場合には、工事期間中の代替場所の確保を含めて検討する必要があります。

❹ 阿佐谷地域

施設の分布



主な施設の数

施設分類	施設数	施設分類	施設数
小学校	7	地域区民センター	1
中学校	5	区民集会所	1
児童館	2	コミュニティふらっと	3
子ども・子育てプラザ	1	ゆうゆう館	2
区立保育園	5	図書館	2

阿佐谷地域の施設の課題

①

施 設 名	杉並第一小学校
所 在 地	阿佐谷北1-5-27
建築年度	昭和31年度（1956年度）（築67年）
延床面積	4,325.16㎡

【課題】

○「杉並第一小学校等施設整備等方針」（平成29年（2017年）5月）に基づき、近隣の総合病院の移転後の敷地に移転改築する予定です。

○小学校移転後の跡地については、同方針を踏まえて、地域の意見・要望を丁寧に聴きながら、検討を進めます。

■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

②

施 設 名	旧保育室浜田山東
所 在 地	浜田山4-15-12
建築年度	昭和37年度（1962年度）（築61年）
延床面積	341.26㎡

【課題】

○令和3年度（2021年度）の区立施設再編整備計画では、既存建物を解体し、高井戸東保育園改築時の仮設園舎整備用地として活用する予定でしたが、これまでの計画の検証に伴い一旦休止しています。

○高井戸東保育園の改築に向けた検討に合わせて、活用方法を検討する必要があります。

③

施 設 名	杉並ひまわり保育園（旧区立杉並保育園、民設）
所 在 地	成田東3-32-26
建築年度	昭和37年度（1962年度）（築61年）
延床面積	416.85㎡

【課題】

○民間事業者に建物を貸与し、運営している民設保育園であるため、令和10年度（2028年度）末の定期建物賃貸借契約期間満了後の対応について検討する必要があります。

④	施 設 名	区役所本庁舎
	所 在 地	阿佐谷南1-15-1
	建築年度	東棟：昭和38年度（1963年度）（築60年） 中棟：平成3年度（1991年度）（築32年） 西棟：平成元年度（1989年度）（築34年）
	延床面積	東棟：11,639.42㎡ 中棟： 9,954.41㎡ 西棟：10,516.01㎡ ※地下駐車場等の面積は含まず

【課題】

○老朽化が進んでいる東棟の改築の検討に当たっては、周辺のまちづくりの動向や新たな庁舎に求められる機能・規模のほか、改築期間中の代替施設の確保など、中棟・西棟への対応を含め、様々な角度から検討を進める必要があります。

○検討に当たっては、事業全体のロードマップ、改築基金の設置、仮設用地の検討など長期的かつ多角的な視点が必要です。

○改築までの期間については、中長期修繕計画に基づき、設備機器の更新や修繕等を実施するなど、施設の保全を図ります。

⑤	施 設 名	和田堀公園プール
	所 在 地	大宮2-2-10
	建築年度	昭和39年度（1964年度）（築59年）
	延床面積	680.33㎡

【課題】

○本施設の用地は、現在は特別緑地保全地区に指定されており建築等に制限を受けることから、現地で改築をすることが原則できません。

○そのため、現在の施設を適切に保全しつつ、今後のあり方や移転先等について検討していく必要があります。

⑥

施 設 名	杉並第七小学校
所 在 地	阿佐谷南3-19-2
建築年度	昭和40年度（1965年度）（築58年）
延床面積	5,897.47㎡（学童クラブ含む）

【課題】
○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、今後の改築候補校としています。
○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。
○小学校内で実施している学童クラブは、令和5年度（2023年度）現在、待機児童が生じており、今後も待機児童が発生する見込みのため、対応を検討する必要があります。
○本施設においては、令和6年度（2024年度）から、小学生の放課後等居場所事業を実施します。
■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

⑦

施 設 名	浜田山小学校
所 在 地	浜田山4-23-1
建築年度	昭和40年度（1965年度）（築58年）
延床面積	7,166.99㎡（学童クラブ含む）

【課題】
○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、今後の改築候補校としています。
○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

⑧

施 設 名	松ノ木中学校
所 在 地	松ノ木1-4-1
建築年度	昭和40年度（1965年度）（築58年）
延床面積	6,359.05㎡

【課題】
○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、施設の長寿命化に向けた中規模修繕等の候補校としています。今後、修繕の実施時期等について検討する必要があります。

⑨

施 設 名	産業商工会館、すぎなみ協働プラザ
所 在 地	阿佐谷南3-2-19
建築年度	昭和40年度（1965年度）（築58年）
延床面積	会館：1,003.24㎡、プラザ：67.2㎡

【課題】

○産業商工会館については、「杉並第一小学校等施設整備等方針（平成29年（2017年）5月）」を踏まえて、移転改築をする杉並第一小学校の跡地に整備する建物に機能を移転する予定です。

○すぎなみ協働プラザについては、上記の移転時期を踏まえて移転先等の検討が必要です。

○築58年を経過していますが、令和2年度（2020年度）に、移転等までの間の施設の維持に必要な改修工事を実施しています。

⑩

施 設 名	東田中学校
所 在 地	成田東3-19-17
建築年度	昭和41年度（1966年度）（築57年）
延床面積	6,975.52㎡

【課題】

○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、施設の長寿命化に向けた中規模修繕等の候補校としています。今後、修繕の実施時期等について検討する必要があります。

⑪

施 設 名	杉並清掃事務所
所 在 地	成田東5-15-20
建築年度	昭和41年度（1966年度）（築57年）
延床面積	896.34㎡

【課題】

○平成30年度（2018年度）に耐震補強工事を実施しており、耐震性は確保されている建物ですが、築57年を経過し、老朽化への対応を検討する時期に来ています。

○建物を改築する場合には、清掃業務を継続しながら行うため、杉並清掃事務所方南支所や下井草分室、高円寺車庫などを活用していくことが必要です。

○現在、職員体制など清掃事業のあり方の検討を進めており、この検討に合わせて施設の改築等を含め、清掃施設のあり方を検討していきます。

⑫

施 設 名	東原中学校
所 在 地	下井草1-28-5
建築年度	昭和42年度（1967年度）（築56年）
延床面積	6,873.23㎡

【課題】
○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、施設の長寿命化に向けた中規模修繕等の候補校としています。今後、修繕の実施時期等について検討する必要があります。

⑬

施 設 名	松ノ木小学校
所 在 地	松ノ木1-2-26
建築年度	昭和43年度（1968年度）（築55年）
延床面積	4,814.30㎡（学童クラブ含む）

【課題】
○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、施設の長寿命化に向けた中規模修繕等の候補校としています。今後、修繕の実施時期等について検討する必要があります。
○小学校内で実施している学童クラブは、令和5年度（2023年度）現在、待機児童が生じており、今後も待機児童が発生する見込みのため、対応を検討する必要があります。

⑭

施 設 名	杉並第九小学校
所 在 地	本天沼1-2-19
建築年度	昭和44年度（1969年度）（築54年）
延床面積	5,888.31㎡（学童クラブ含む）

【課題】
○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、施設の長寿命化に向けた中規模修繕等の候補校としています。今後、修繕の実施時期等について検討する必要があります。
○小学校内で実施している学童クラブは、令和5年度（2023年度）現在、待機児童が生じており、今後も待機児童が発生する見込みのため、対応を検討する必要があります。

⑮

施 設 名	東田小学校
所 在 地	成田東1-21-1
建築年度	昭和46年度（1971年度）（築52年）
延床面積	5,574.98㎡（学童クラブ含む）

【課題】
○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、今後の改築候補校としています。
○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

⑯

施 設 名	杉並児童交通公園管理事務所
所 在 地	成田西1-22-13
建築年度	昭和46年度（1971年度）（築52年）
延床面積	240.00㎡

【課題】
○築52年を経過し、老朽化への対応を検討する時期に来ています。
○管理事務所を改築する場合には、公園施設の老朽化が進んでいることや、多様化する区民ニーズに対応した公園とすること等を踏まえて、公園全体の改修についても検討する必要があります。

⑰

施 設 名	旧成田会議室、ケア24成田
所 在 地	成田西3-7-4
建築年度	昭和46年度（1971年度）（築52年）
延床面積	会議室：174.21㎡、ケア24：194.88㎡

【課題】
○旧成田会議室は、会議室の廃止後、文書倉庫として活用しています。
○施設老朽化への対応に当たり、改築等を検討する場合には、併設施設の更新方針との調整、移転や工事期間中の代替運営場所の確保等の検討が必要となります。

⑱

施 設 名	杉森中学校
所 在 地	阿佐谷北5-45-24
建築年度	昭和49年度（1974年度）（築49年）
延床面積	8,352.06㎡

【課題】
○上記の建築年度については、最も古い特別教室棟を記載しています。普通教室棟等については、平成元年度（1989年度）に改築をしており、築34年を経過しています。
○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、施設の長寿命化に向けた長寿命化改修の候補校としています。今後、長寿命化改修を実施する時期等について検討する必要があります。

⑲

施 設 名	旧馬橋不燃化促進住宅
所 在 地	阿佐谷北5-8-16
建築年度	昭和60年度（1985年度）（築38年）
延床面積	457.29㎡

【課題】
○設備の老朽化に伴い、令和4年度（2022年度）末で廃止しています。
○跡地の活用策の検討が課題となっています。

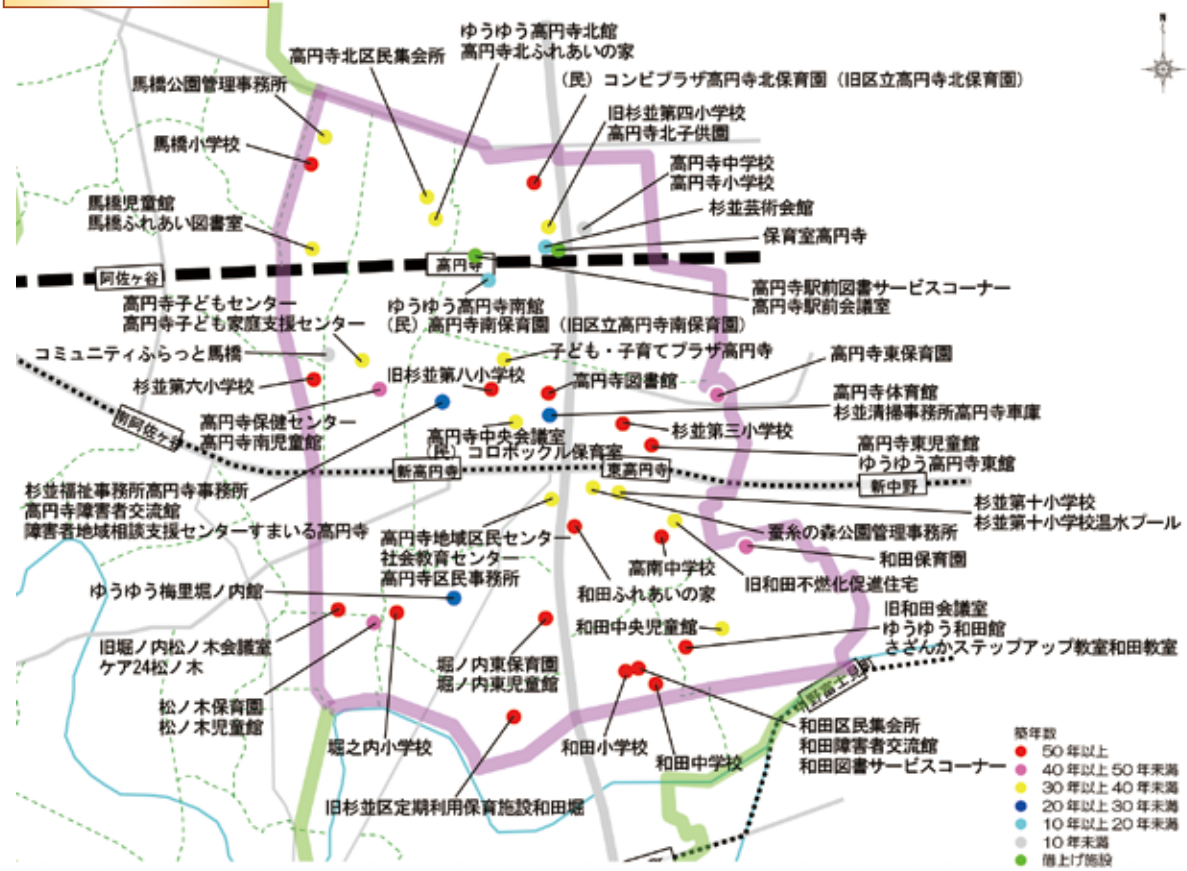
⑳

施 設 名	阿佐ケ谷中学校
所 在 地	阿佐谷南1-17-3
建築年度	平成元年度（1989年度）（築34年）
延床面積	8,764.19㎡

【課題】
○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、施設の長寿命化に向けた長寿命化改修の候補校としています。今後、長寿命化改修を実施する時期等について検討する必要があります。

⑤ 高円寺地域

施設の分布



主な施設の数

施設分類	施設数	施設分類	施設数
小学校	7	地域区民センター	1
中学校	3	区民集会所	2
児童館	6	コミュニティふらっと	1
子ども・子育てプラザ	1	ゆうゆう館	5
区立保育園	4	体育館	1
		図書館	1

高円寺地域の施設の課題

①	施 設 名	杉並第六小学校
	所 在 地	阿佐谷南1-24-21
	建築年度	昭和38年度(1963年度)(築60年)
	延床面積	5,241.69㎡

【課題】
○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画(第2次改築計画)では、今後の改築候補校としています。
○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。
■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

②	施 設 名	和田小学校、和田区民集会所、 和田図書サービスコーナー、和田障害者交流館
	所 在 地	和田2-30-21
	建築年度	昭和39年度（1964年度）（築59年）
	延床面積	小学校：5,587.18㎡、集会所：453.77㎡（図書サービスコーナー含む）、 交流館：301.75㎡

【課題】
○和田小学校は、既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第２次改築計画）では、今後の改築候補校としています。
○和田小学校の改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、併設する和田区民集会所や和田障害者交流館、その他周辺施設等と小学校との複合化・多機能化の可能性や施設のあり方等について、合わせて検討する必要があります。
■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

③

施 設 名	堀之内小学校
所 在 地	堀ノ内3-24-11
建築年度	昭和39年度（1964年度）（築59年）
延床面積	5,749.37㎡

【課題】

○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、施設長寿命化の候補校としています。令和4年度（2022年度）に長寿命化に向けた中規模修繕を実施しており、長寿命化を踏まえた改築時期が来るまでは現在の校舎で運営していきます。

○校舎等の建物については、昭和39年度（1964年度）から整備をした北校舎と平成11年度（1999年度）に整備した東校舎（特別教室棟、体育館）があり、今後の改築等の検討においては、建物ごとの築年数の差についても考慮する必要があります。

④

施 設 名	旧堀ノ内松ノ木会議室、ケア24松ノ木
所 在 地	松ノ木3-3-4
建築年度	昭和39年度（1964年度）（築59年）
延床面積	会議室：296.93㎡、ケア24：99.38㎡

【課題】

○旧堀ノ内松ノ木会議室については、令和5年（2023年）7月までセシオン杉並の長寿命化改修期間中の高円寺区民事務所の代替運営場所として活用していました。

○施設老朽化への対応に当たり、改築等を検討する場合には、併設施設の更新方針との調整、移転や工事期間中の代替運営場所の確保等が課題となります。

⑤

施 設 名	高円寺図書館
所 在 地	高円寺南2-36-25
建築年度	昭和42年度（1967年度）（築56年）
延床面積	1,895.28㎡

【課題】

○旧杉並第八小学校跡地に整備する（仮称）高円寺図書館等複合施設に、（仮称）コミュニティふらっと高円寺南との複合施設として令和7年（2025年）3月に移転改築します。

○跡地は、近隣の私立小学校からの申し出により、同小学校の改築時の仮校舎として活用するため、令和9年（2027年）9月まで暫定的に貸付を行います。

■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

⑥

施 設 名	高南中学校
所 在 地	和田3-40-10
建築年度	昭和44年度（1969年度）（築54年）
延床面積	6,810.99㎡

【課題】

○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、施設の長寿命化に向けた長寿命化改修の候補校としています。今後、長寿命化改修を実施する時期等について検討する必要があります。

⑦

施 設 名	和田中学校
所 在 地	和田2-21-8
建築年度	昭和45年度（1970年度）（築53年）
延床面積	6,747.83㎡

【課題】

○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、今後の改築候補校としています。

○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

⑧

施 設 名	高円寺東児童館、ゆうゆう高円寺東館
所 在 地	高円寺南1-7-22
建築年度	昭和45年度（1970年度）（築53年）
延床面積	児童館：449.41㎡、ゆうゆう館：236.51㎡

【課題】
○施設老朽化への対応に当たり、現在地での改築や大規模な改修をする場合には、工事期間中の代替運営場所の確保等の検討が必要となります。
○その際、高円寺東児童館については、令和6年度（2024年度）中に策定予定である「（仮称）杉並区子どもの居場所づくり基本方針」の内容を踏まえ、今後の施設のあり方を具体化していきます。

⑨

施 設 名	ゆうゆう和田館、さざんかステップアップ教室「和田教室」、旧和田会議室
所 在 地	和田1-41-10
建築年度	昭和45年度（1970年度）（築53年）
延床面積	ゆうゆう館：199.1㎡、さざんか：212.63㎡、会議室：155.37㎡

【課題】
○旧和田会議室は、会議室の廃止後、郷土博物館の文化財保管場所として活用しています。
○近隣の和田小学校が、令和8年度（2026年度）から改築に向けた検討を進めることから、小学校との複合化の可能性の検討等を含め、施設のあり方等を検討する必要があります。
○現在地での改築や大規模な改修をする場合には、工事期間中の代替運営場所の確保等の検討が必要となります。

⑩

施 設 名	杉並第三小学校
所 在 地	高円寺南1-15-13
建築年度	昭和46年度（1971年度）（築52年）
延床面積	5,273.39㎡（学童クラブ含む）

【課題】
○築50年を経過しており、今後、老朽化への対応を検討する際には、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

⑪

施 設 名	馬橋小学校
所 在 地	高円寺北4-28-5
建築年度	昭和46年度（1971年度）（築52年）
延床面積	5,874.34㎡

【課題】

○築50年を経過しており、今後、老朽化への対応を検討する際には、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

⑫

施 設 名	堀ノ内東保育園、堀ノ内東児童館
所 在 地	堀ノ内3-49-19
建築年度	昭和46年度（1971年度）（築52年）
延床面積	保育園：816.72㎡、児童館：865.58㎡

【課題】

○堀ノ内東保育園は、令和8年（2026年）4月に（仮称）都営梅里一丁目団地隣接地に移転し、私立保育園に転換します。移転後の跡地の活用策の検討が今後の課題となります。

○児童館内で実施している学童クラブは、令和5年度（2023年度）現在、待機児童が生じており、今後も待機児童が発生する見込みのため、対応を検討する必要があります。

○堀ノ内東児童館については、令和6年度（2024年度）中に策定予定である「（仮称）杉並区子どもの居場所づくり基本方針」の内容を踏まえ、今後の施設のあり方を具体化していきます。

○施設老朽化への対応に当たり、改築等を検討する場合には、都営住宅との併設施設であることから東京都との調整が必要になります。また、学童クラブの実施場所を確保するなどの観点から、工事期間中の代替運営場所の確保などが検討課題となります。

⑬

施 設 名	コンビプラザ高円寺北保育園 （旧区立高円寺北保育園、民設）
所 在 地	高円寺北2-32-7
建築年度	昭和46年度（1971年度）（築52年）
延床面積	768.81㎡

【課題】
○民間事業者に建物を貸与し、運営している民設保育園であるため、賃貸借契約満了後の対応について検討する必要があります。

⑭

施 設 名	高円寺保健センター、高円寺南児童館
所 在 地	高円寺南3-24-15
建築年度	昭和51年度（1976年度）（築47年）
延床面積	センター：1,478.95㎡、児童館：633.60㎡

【課題】
○近隣の杉並第六小学校が、令和7年度（2025年度）から改築に向けた検討を進めることから、高円寺南児童館については、令和6年度（2024年度）中に策定予定である「（仮称）杉並区子どもの居場所づくり基本方針」の内容を踏まえ、今後の施設のあり方を具体化していきます。
○現在地での改築や大規模な改修をする場合には、工事期間中の代替運営場所の確保等の検討が必要となります。

⑮

施 設 名	和田保育園（障害児指定園）
所 在 地	和田1-66-19
建築年度	昭和52年度（1977年度）（築46年）
延床面積	672.79㎡

【課題】
○区立保育園は、現在計画化されているものを除き、当面、民営化の予定はないことから、改築等について検討が必要です。仮に和田保育園が現在と同じ場所・定員で改築する場合、現在の基準に当てはめると必要諸室の規模が大きくなる等、延床面積が増加する見込みです。これにより、現在の環境と比較して、園庭が狭くなるなどの状況が生じる可能性があります。
○近隣の和田小学校が、令和8年度（2026年度）から改築に向けた検討を開始することから、これに合わせて、周辺施設の状況を踏まえて、改築等の可能性について検討する必要があります。
○現在地での改築や大規模な改修をする場合には、工事期間中の代替運営場所の確保等の検討が必要となります。

⑯

施 設 名	高円寺東保育園（中核園・障害児指定園）
所 在 地	高円寺南1-28-4
建築年度	昭和53年度（1978年度）（築45年）
延床面積	786.07㎡

【課題】

○旧杉並第八小学校跡地に整備する（仮称）高円寺図書館等複合施設内の保育所に、令和7年度（2025年度）中に移転改築します。

○跡地は、近隣の私立幼稚園からの申し出により、同幼稚園の改築時の仮園舎として活用するため、令和9年（2027年）7月まで暫定的に貸付を行います。

■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

⑰

施 設 名	杉並第十小学校、杉並第十小学校温水プール
所 在 地	和田3-55-49
建築年度	昭和60年度（1985年度）（築38年）
延床面積	小学校：9,657.32㎡、プール：1,855.84㎡

【課題】

○杉並第十小学校は、令和7年度（2025年度）から、夏季休業期間を中心に概ね3か年に分けて長寿命化改修を実施します。

○併設の杉並第十小学校温水プールについても長寿命化改修を実施します（令和9年度（2027年度）を予定）。

■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

⑱

施 設 名	高円寺中央会議室、コロボックル保育室（民設）
所 在 地	高円寺南2-32-5
建築年度	昭和61年度（1986年度）（築37年）
延床面積	会議室：290.25㎡、保育室：271.12㎡

【課題】

○高円寺中央会議室については、令和7年（2025年）3月に開設する（仮称）コミュニティふらっと高円寺南において、町会や青少年育成委員会等の活動場所を確保することができることから廃止します（コロボックル保育室については、運営を継続します）。

○高円寺中央会議室の廃止後は、令和8年（2026年）11月の区立児童相談所の開設までの間における、都からの業務引継ぎのための執務スペースとして活用します。

■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

⑲

施 設 名	和田中央児童館
所 在 地	和田1-38-18
建築年度	昭和61年度（1986年度）（築37年）
延床面積	599.83㎡

【課題】

○児童館内で実施している学童クラブは、令和5年度（2023年度）現在、待機児童が生じており、今後も待機児童が発生する見込みのため、対応を検討する必要があります。

○近隣の和田小学校が、令和8年度（2026年度）から改築に向けた検討を開始する予定であることから、令和6年度（2024年度）中に策定予定である「(仮称）杉並区子どもの居場所づくり基本方針」の内容を踏まえ、今後の施設のあり方を具体化していきます。

⑳

施 設 名	旧和田不燃化促進住宅
所 在 地	和田3-41-27
建築年度	昭和61年度（1986年度）（築37年）
延床面積	406.08㎡

【課題】

○設備の老朽化に伴い、令和4年度（2022年度）末で廃止しています。

○跡地の活用策の検討が課題となっています。

㉑

施 設 名	ゆうゆう高円寺南館
所 在 地	高円寺南4-44-11
建築年度	平成20年度（2008年度）（築15年）
延床面積	461.88㎡

【課題】

○令和7年（2025年）3月に開設する（仮称）コミュニティふらっと高円寺南に機能継承することとしていますが、ゆうゆう館を廃止した後の跡地活用は検討中です。

○そのため、令和8年度（2026年度）に予定する計画改定までの間に駅に近い立地条件を踏まえた活用策について検討するとともに、施設の有効活用やゆうゆう高円寺南館の（仮称）コミュニティふらっと高円寺南への機能継承を円滑に進める観点から、令和7年度（2025年度）からの最長2年間、暫定的にゆうゆう館として存置します。

■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

㉒	施 設 名	高円寺駅前図書サービスコーナー、会議室	
	所 在 地	高円寺北2-5-1	
	建築年度	（借上げ）	
	延床面積	382.7㎡（会議室含む）	
	【課題】 ○民間事業者からの借上げ施設ですが、費用対効果の観点から、賃借料の負担に課題があります。		

❻ 高井戸地域

施設の分布

主な施設の数

施設分類	施設数
小学校	6
中学校	3
児童館	5
区立保育園	5

施設分類	施設数
地域区民センター	1
区民集会所	1
区民会館	2
ゆうゆう館	5
図書館	2

高井戸地域の施設の課題

①	施 設 名	柏の宮公園管理事務所	
	所 在 地	浜田山2-5-1	
	建築年度	昭和31年度（1956年度）（築67年）	
	延床面積	896.1㎡	

【課題】

○平成16年（2004年）の公園開設に合わせて、施設の修繕や耐震補強等を実施していますが、築67年を経過し、バリアフリー化への対応も含め、老朽化への対応を検討する必要があります。

②	施 設 名	西宮中学校	
	所 在 地	宮前5-1-25	
	建築年度	昭和35年度（1960年度）（築63年）	
	延床面積	5,946.72㎡	

【課題】

○令和3年度（2021年度）の区立施設再編整備計画では、近隣の宮前図書館との複合化を視野に改築に向けた検討をすることとしており、令和4年度（2022年度）に検討をしてきましたが、中学校の改築に当たっては、周辺施設を含めて改めて検討していくこととしています。

○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

★この施設は、第1次実施プランの「取組案の検討」に記載があります。

③

施 設 名	高井戸第三小学校
所 在 地	下高井戸4-16-24
建築年度	昭和38年度（1963年度）（築60年）
延床面積	6,554.41㎡（学童クラブ含む）

【課題】

○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、今後の改築候補校としています。

○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

④

施 設 名	旧富士見丘小学校
所 在 地	上高井戸2-16-13
建築年度	昭和41年度（1966年度）（築57年）
延床面積	6,039.29㎡

【課題】

○富士見丘小学校は、令和5年（2023年）9月から新校舎に移転改築しました。旧校舎については、富士見丘小学校の改築に引き続き実施する富士見丘中学校改築時の仮校舎として令和7年度（2025年度）末まで活用します。

○令和3年度（2021年度）の区立施設再編整備計画では、ゆうゆう高井戸西館の既存建物を解体し、コミュニティふらっとを整備する予定としており、その工事期間中の同ゆうゆう館の代替活動場所としても旧校舎を活用する予定でしたが、一旦休止しています。

○富士見丘中学校改築時の仮校舎として活用した後について、有効活用策を検討することが課題となっています。

⑤

施 設 名	高井戸保健センター、生活衛生課分室
所 在 地	高井戸東3-20-3
建築年度	センター：昭和41年度（1966年度）（築57年）、 分室：昭和56年度（1981年度）（築42年）
延床面積	センター：1,404.74㎡（子どもセンター含む）、分室：1,591.81㎡

【課題】
○施設老朽化への対応において、現在地での改築や大規模な改修をする場合には、工事期間中の代替運営場所の確保等の検討が必要となります。
○路地状敷地（旗竿状の土地）であることや、その出入口が狭小であることから、改築をする際には新たに建てることができる建物の規模や工事の進め方などに制約があります。
○対応に当たっては、生活衛生課分室の建物も含め、用地一体のものとして検討する必要があります。

⑥

施 設 名	宮前児童館
所 在 地	宮前4-15-13
建築年度	昭和44年度（1969年度）（築54年）
延床面積	458.06㎡

【課題】
○現在地での改築や大規模な改修をする場合には、工事期間中の代替運営場所の確保等の検討が必要となります。
○令和6年度（2024年度）中に策定予定である「（仮称）杉並区子どもの居場所づくり基本方針」の内容を踏まえ、今後の施設のあり方を具体化していきます。

⑦

施 設 名	富士見丘中学校
所 在 地	久我山2-20-1
建築年度	昭和47年度（1972年度）（築51年）
延床面積	6,453.72㎡

【課題】
○現在、改築に向けた取組を進めており、令和5年度（2023年度）から新校舎の建築に着手しています。
■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

⑧

施 設 名	高井戸東小学校
所 在 地	高井戸東1-12-1
建築年度	昭和47年度（1972年度）（築51年）
延床面積	5,341.31㎡（学童クラブ含む）

【課題】

○築50年を経過しており、今後、老朽化への対応を検討する際には、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

⑨

施 設 名	高井戸西児童館、ゆうゆう高井戸西館
所 在 地	高井戸西1-17-5
建築年度	昭和47年度（1972年度）（築51年）
延床面積	児童館：515.23㎡、ゆうゆう館：242.55㎡

【課題】

○令和3年度（2021年度）の区立施設再編整備計画では、富士見丘小学校の移転改築に合わせて高井戸西児童館の小学生の居場所の機能を小学校内に移転し、児童館を廃止するとともに、ゆうゆう高井戸西館については、旧富士見丘小学校の校舎を代替運営場所としつつ、現在の施設を解体して、新たにコミュニティふらっとを整備し、高齢者団体の活動場所等の機能を継承していく予定でした。これらの取組については、富士見丘小学校内で令和6年度（2024年度）から実施する学童クラブの機能移転を除き、これまでの計画の検証に伴い一旦休止しています。

○児童館との併設施設であるため、令和6年度（2024年度）中に策定予定である「（仮称）杉並区子どもの居場所づくり基本方針」の内容を踏まえ、今後の施設のあり方を具体化していきます。

⑩	施 設 名	高井戸西子供園
	所 在 地	高井戸西3-15-4
	建築年度	昭和47年度（1972年度）（築51年）
	延床面積	703.34㎡

【課題】

○令和3年度（2021年度）の区立施設再編整備計画では、旧宮前自転車集積所の跡地（現遊び場119番）を活用して仮園舎を整備し、現在の用地で改築するとともに、仮園舎については、活用後、子ども･子育てプラザに転用する予定でした。これらの取組については、これまでの計画の検証に伴い一旦休止しています。

○令和6年度（2024年度）中に策定予定である「(仮称）杉並区子どもの居場所づくり基本方針」の内容を踏まえ、子ども・子育てプラザの整備や高井戸西子供園の改築についても、改めて検討する必要があります。

⑪	施 設 名	宮前図書館、 さざんかステップアップ教室「宮前教室」
	所 在 地	宮前5-5-27
	建築年度	昭和47年度（1972年度）（築51年）
	延床面積	図書館：1,974.02㎡、さざんか：350.63㎡

【課題】

○宮前図書館は、令和3年度（2021年度）の区立施設再編整備計画に基づき、改築する西宮中学校との複合化を検討してきましたが、更なる精査が必要であることや、さざんかステップアップ教室「宮前教室」や老朽化した周辺施設の状況等を踏まえて、幅広く検討する必要が生じたことから、引き続き、西宮中学校の改築と合わせて検討を進めることとしました。

○現在の用途地域を踏まえると約1,650㎡までの延床面積しか整備することができないため、当該敷地に新たに建物を整備する場合、既存の図書館等よりも延床面積の規模が小さくなります。

○エレベーターが設置されていないなど、バリアフリーに課題があります。

★この施設は、第1次実施プランの「取組案の検討」に記載があります。

⑫	施 設 名	高井戸東保育園（障害児指定園）、 ゆうゆう高井戸東館	
	所 在 地	高井戸東3-14-9	
	建築年度	昭和48年度（1973年度）（築50年）	
	延床面積	保育園：650.46㎡、ゆうゆう館：212.04㎡	
	【課題】 ○令和3年度（2021年度）の区立施設再編整備計画では、高井戸東保育園は、旧保育室浜田山東跡地に仮設園舎を整備して現在地にて改築し、併設するゆうゆう高井戸東館は、ケア24浜田山の移転を前提として浜田山会館をコミュニティふらっとに転用し、機能継承をする予定でした。これらの取組については、これまでの計画の検証に伴い一旦休止しています。 ○区立保育園は、現在計画化されているものを除き、当面、民営化の予定はないことから、改築等について検討が必要です。仮に高井戸東保育園が現在と同じ場所・定員で改築する場合、現在の基準に当てはめると必要諸室の規模が大きくなる等、延床面積が増加する見込みです。これにより、現在の環境と比較して、園庭が狭くなる、他の施設を併設する場合は、その延床面積が狭くなるなどの状況が生じる可能性があります。 ○高井戸東保育園の改築の検討に当たっては、ゆうゆう高井戸東館や浜田山会館の方向性、改築工事期間中の代替運営場所の確保などが検討課題となります。 ★この施設は、第1次実施プランの「取組案の検討」に記載があります。		

⑬

施 設 名	高井戸児童館、高井戸学童クラブ
所 在 地	高井戸西2-5-10
建築年度	昭和57年度（1982年度）（築41年）
延床面積	児童館：997.25㎡、学童：379.90㎡

【課題】

○令和3年度（2021年度）の区立施設再編整備計画では、高井戸小学校の増築に合わせて、小学校内に学童クラブの育成室等を整備し、高井戸児童館を子ども・子育てプラザに転用する予定でしたが、これまでの計画の検証に伴い、学童クラブの整備を除き、この取組を一旦休止しています。

○令和6年度（2024年度）中に策定予定である「（仮称）杉並区子どもの居場所づくり基本方針」の内容を踏まえ、今後の施設のあり方を具体化していきます。

⑭

施 設 名	浜田山会館、ケア24浜田山
所 在 地	浜田山1-36-3
建築年度	平成５年度（1993年度）（築30年）
延床面積	会館：894.53㎡、ケア24：95.25㎡

【課題】

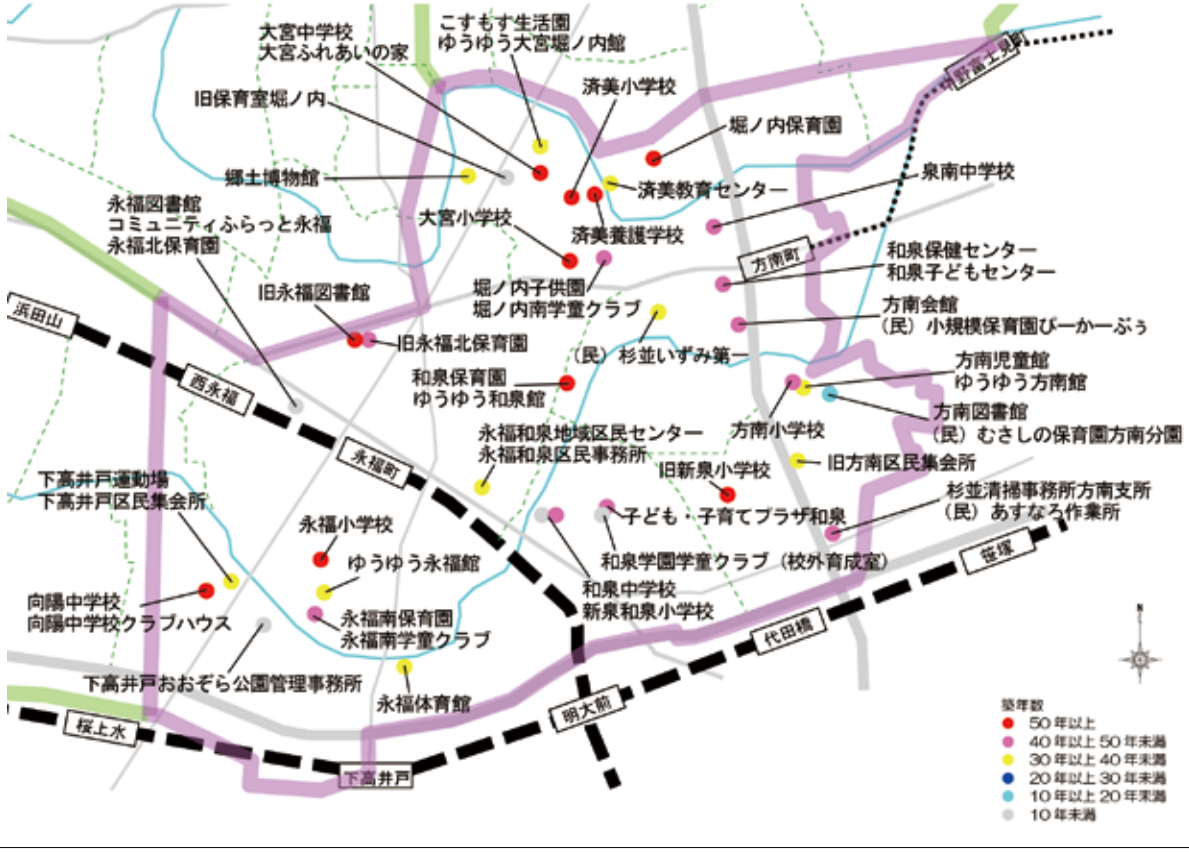
○浜田山会館は、令和3年度（2021年度）の区立施設再編整備計画では、必要な改修を行った上でコミュニティふらっとに転用し、浜田山会館のほか、高井戸東保育園の改築に合わせて、同保育園に併設するゆうゆう高井戸東館を機能継承する予定でした。また、併設するケア24浜田山については、これに合わせて移転先を検討することとしていました。これらの取組については、これまでの計画の検証に伴い一旦休止しています。

○高井戸東保育園及びゆうゆう高井戸東館の検討と合わせて、改めて浜田山会館等の活用の可能性の有無等についても検討していく必要があります。

★この施設は、第1次実施プランの「取組案の検討」に記載があります。

❼ 方南和泉地域

施設の分布



主な施設の数

施設分類	施設数
小学校	5
中学校	4
特別支援学校	1
児童館	1
子ども・子育てプラザ	1
区立保育園	4

施設分類	施設数
地域区民センター	1
区民集会所	1
コミュニティふらっと	1
区民会館	1
ゆうゆう館	4
体育館	1
図書館	2

方南和泉地域の施設の課題

①	施 設 名	向陽中学校
	所 在 地	下高井戸3-24-1
	建築年度	昭和40年度（1965年度）（築58年）
	延床面積	6,317.81㎡

【課題】
○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、今後の改築候補校としています。
○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。
■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

②	施 設 名	大宮小学校
	所 在 地	堀ノ内1-12-16
	建築年度	昭和40年度（1965年度）（築58年）
	延床面積	5,311.90㎡（学童クラブ含む）

【課題】
○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、今後の改築候補校としています。
○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。
○小学校内で実施している学童クラブは、令和5年度（2023年度）現在、待機児童が生じており、今後も待機児童が発生する見込みのため、対応を検討する必要があります。

③		
	施 設 名	大宮中学校
	所 在 地	堀ノ内1-16-38
	建築年度	昭和40年度（1965年度）（築58年）
	延床面積	7,402.32㎡

【課題】
○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、施設の長寿命化に向けた中規模修繕等の候補校としています。今後、修繕の実施時期等について検討する必要があります。

④		
	施 設 名	旧永福図書館
	所 在 地	永福4-25-7
	建築年度	昭和40年度（1965年度）（築58年）
	延床面積	1,190.85㎡

【課題】
○令和3年(2021年)4月に永福図書館が新施設に移転した後、既存建物については、セシオン杉並の長寿命化改修実施期間中における物品保管庫等として活用してきました。同長寿命化改修の終了後には、令和６年度(2024年度)から７年度(2025年度)にかけて実施する済美教育センターの増築・改修期間中における同センターの代替事務室として活用する予定です。
○その後の活用策について、築58年を経過し老朽化が進んでいることなどを踏まえて検討する必要があります。
■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

⑤		
	施 設 名	済美小学校
	所 在 地	堀ノ内1-17-24
	建築年度	昭和42年度（1967年度）（築56年）
	延床面積	5,691.16㎡

【課題】
○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）では、今後の改築候補校としています。
○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

⑥

施 設 名	和泉保育園（中核園）、ゆうゆう和泉館
所 在 地	和泉4-16-22
建築年度	昭和43年度（1968年度）（築55年）
延床面積	保育園：372.33㎡、ゆうゆう館：193.51㎡

【課題】

○区立保育園は、現在計画化されているものを除き、当面、民営化の予定はないことから、改築等について検討が必要です。仮に和泉保育園が現在と同じ場所・定員で改築する場合、現在の基準に当てはめると必要諸室の規模が大きくなる等、延床面積が増加する見込みです。これにより、現在の環境と比較して、園庭が狭くなる、他の施設を併設する場合は、その延床面積が狭くなるなどの状況が生じる可能性があります。

○そうしたことを踏まえ、施設のあり方や移転の可能性、工事期間中の代替運営場所の確保などが検討課題となります。

⑦

施 設 名	永福小学校
所 在 地	永福2-16-33
建築年度	昭和44年度（1969年度）（築54年）
延床面積	6,160.92㎡

【課題】

○既存校舎の状況等を踏まえ、杉並区立学校施設整備計画（第２次改築計画）では、今後の改築候補校としています。

○改築の検討に当たっては、子どもたちに望ましい教育環境を確保した上で、用地の有効活用や地域に開かれた学校施設を目指していく観点などから、周辺施設等との複合化・多機能化の可能性についても合わせて検討する必要があります。

⑧

施 設 名	済美養護学校
所 在 地	堀ノ内1-19-25
建築年度	昭和44年度（1969年度）（築54年）
延床面積	4,772.24㎡

【課題】

○特別な支援を必要とする児童・生徒数は、今後も増加することが見込まれます。これまで校舎の増築等により対応してきましたが、これ以上の対応は困難であることから、近隣の済美教育センターを増築・改修し、令和7年度（2025）年度に中学部を移転します。

■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

⑨

施 設 名	旧新泉小学校
所 在 地	和泉1-44-26
建築年度	昭和45年度（1970年度）（築53年）
延床面積	1,419.2㎡

【課題】

○平成26年度（2014年度）末の小学校廃止後、敷地を分割し、特別養護老人ホームを整備するとともに、既存校舎の一部については、近隣の私立高等学校に貸付を行っています。

○既存校舎等については、私立学校に建物を貸して運営をしていることから、老朽化への対応に当たっては、学校法人と協議しながら進める必要があります。

⑩

施 設 名	堀ノ内保育園
所 在 地	堀ノ内2-8-7
建築年度	昭和47年度（1972年度）（築52年）
延床面積	671.49㎡

【課題】

○区立保育園は、現在計画化されているものを除き、当面、民営化の予定はないことから、改築等について検討が必要です。仮に堀ノ内保育園が現在と同じ場所・定員で改築する場合、現在の基準に当てはめると必要諸室の規模が大きくなる等、延床面積が増加する見込みです。これにより、現在の環境と比較して、園庭が狭くなるなどの状況が生じる可能性があります。

○現在地での改築や大規模な改修をする場合には、工事期間中の代替運営場所の確保等の検討が必要となります。

⑪

施 設 名	旧永福北保育園
所 在 地	永福4-25-4
建築年度	昭和52年度（1977年度）（築46年）
延床面積	758.01㎡

【課題】

○済美養護学校中学部が済美教育センターに移転することに伴い、済美教育センターの機能の内、教育相談担当の機能については、令和5年度（2023年度）中に旧永福北保育園の建物を改修して移転します。

○築46年を経過していますが、前記の改修に合わせて適切な修繕を実施します。

○今後、施設の老朽化への対応を検討するに当たっては、隣地が旧永福図書館であることも踏まえて検討する必要があります。

■この施設は、第1次実施プランの「具体的な取組」に記載があります。

⑫

施 設 名	郷土博物館
所 在 地	大宮1-20-8
建築年度	昭和63年度（1988年度）（築35年）
延床面積	1,495.88㎡

【課題】

○杉並区立一般施設長寿命化計画（令和3年（2021年）3月）においては、施設長寿命化の候補施設とされていることから、築40年目を目安に長寿命化改修を実施することと想定しています。

○長寿命化改修の実施に当たっては、改修工事期間中における温湿度管理が施された収蔵資料の保管場所の確保が課題となります。

○館内の収蔵庫については、収蔵資料の増加により飽和状態に達していることが課題となっています。

○今後、学校等の改築が増えるため、埋蔵文化財については増加する可能性があります。